

## 修 士 論 文 要 旨

看護学専攻	看護管理学 分野	学籍番号 219601 氏 名 安藤 恵理
論文題目	経営参画における看護師長の認識と役割行動	
キーワード	看護管理者、看護師長、経営参画、認識、役割行動	
<p><b>【目的】</b>          昨今の社会背景の変化や厳しい医療情勢の中で健全に病院経営を維持していくためには、病院経営層だけが経営戦略の策定に関わるのではなく、看護部の参画が重要となっている。看護部の中でも現場で看護の質を管理する看護師長は、病院経営に大きく貢献する存在であり、看護師長の力量がますます問われている。看護師長には経営の視点をもって効率的に自部署の運営を実施することが期待されている。しかし、看護師長の経営意識が病院の経営実態に影響を与えることは報告されているが、経営参画における看護師長の認識や役割行動に関する先行研究はほぼない。そこで本研究では経営参画における看護師長の認識と役割行動を明らかにすることを目的とした。</p> <p><b>【方法】</b>          看護師長経験が2年以上で、看護管理者教育課程セカンドレベルを修了した看護師長 11 名を対象とし、半構造化面接を実施し、質的帰納的に分析した。</p> <p><b>【結果】</b>          分析の結果、経営参画に対する看護師長の認識として【経営参画は看護師長の役割】、【部署運営で経営に貢献】、【自己の実践と経営参画を結び付けることが困難】の3つのカテゴリーが、経営参画における看護師長の役割行動として【働き続けられる環境づくり】、【病院・看護部の方針、経営状況を自部署へ波及】、【効率的・効果的な運営ができるよう検討や工夫】、【多職種や部署間での支援、連携、協働】、【看護師長の立場での発信や交渉】の5つのカテゴリーが抽出された。</p> <p><b>【考察】</b>          看護師長は、【部署運営で経営に貢献】と認識しているにもかかわらず、【自己の実践と経営参画を結び付けることが困難】と認識していた。これは、自己の実践を振り返る機会がないこと、評価がうまくできないことが考えられ、対応するためには看護師長に求められるコンピテンシーの「内省力」や「情報志向」を強化する必要があると思われる。</p> <p>看護師長の役割行動において、部署の責任者、組織の中間管理者の2つの立場で、自己の責任や役割を考えて行動をしており、これらの行動は経営参画にとっても重要である。また、より組織全体の経営参画に貢献するためには、それぞれの看護師長が病院経営における役割について共通の認識を持つことが重要である。さらに、看護師長は、自部署の安全性が第一であると「部署最適」を考えた行動をしている。効率的・効果的な運営のためには、病院組織全体という「全体最適」の視点から、自部署の資源で何に貢献できるかを考えていく必要がある。また、この「全体最適」の視点が、日々の実践が組織に貢献していると実感することにもつながると考える。</p>		